

- ◎ 今日のシンポジウムでは、万引き被害の現場で対応に苦慮しておられる事業者の方々の生の声を聞かせていただき、大変、参考になりました。有り難うございました。
- ◎ 僭越ながら申し上げますと、以前は、「たかが万引き」といった世間の風潮に遠慮して、或いは、ほとんどが善良な顧客の反発を恐れて、正面から防止対策を打ち出すことを憚る雰囲気があったように思われますが、現在では、その点が大きく変わってきて、「万引きは許さない」という姿勢を前面に出しておられるように感じました。
- ◎ 万引きを取り巻く国民世論が変わってきたからこそ実現できた対応の変化ですが、世論の醸成に当たって万防機構の果たした役割は大きかったものと思います。ただ、「万引きはれっきとした犯罪であり、安易に看過しない。咎めるべきはきちんと咎める。」という世論が安定的に醸成されてきている現状に鑑みれば、もっと踏み込んでいただいて、より明確な防止対策をとっていただくことも可能ではないでしょうか。或る大手チェーンストアでは、会長のご英断で商品展示を一変させた例がありましたけれども、いずれにいたしましても、経営の根幹に関わる部分がありますから、経営トップのご判断だと思えます。
- ◎ ところで、万防機構も設立から9年余が経ち、皆さま方とともに取り組んでまいりました対策の成果が、徐々に、形になって表れてきているように思います。これから先も、もちろん、万引き犯罪の根絶を目指して努力していかねければなりませんけれども、万引き防止は、一面、いわば永遠の課題です。社会を挙げて万引き防止対策に取り組むことを通じて、人々の規範意識を高く保ち、安全で安心な社会（世界一安全な国・日本）の基盤を確固たるものにするのが究極の目標だと思えます。口幅ったいことを申しますと、社会の規範意識を鍛える対策としての大きな意義があるものと考えております。
- ◎ 引き続き、皆さま方とともに、諸々の対策を進めてまいりたいと思えます。よろしく願い申し上げます。